

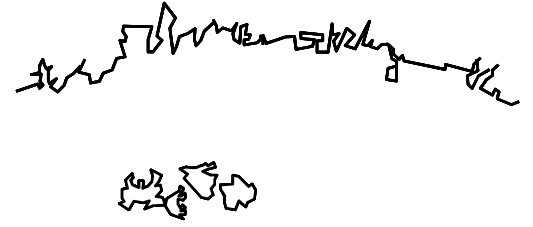
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 4 号)

2019年11月15日発行
 兵庫のみ研究所

地先漁場においてユーカンピアの増殖が確認されており、栄養塩（窒素）の値が大きく減少しています。沖合漁場では、ユーカンピアはほとんど確認されず、窒素は3~4 $\mu\text{g at / L}$ と前回（11/6）調査より高くなっています。

（栄養塩、珪藻）地先漁場において、コシノディスカスは海水1Lあたり100細胞までと減少したが、ユーカンピアが海水1mlあたり300細胞前後と多く発生しており、窒素は1 $\mu\text{g at / L}$ 以下の低い値を示した。沖合漁場のコシノディスカスは、坊勢地区で海水1Lあたり15細胞前後、家島地区で50~100細胞と減少しており、ユーカンピアを含めそれ以外の珪藻はほとんど確認されない。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	2.8	0.7	6.3	9.2
	リン	0.54	0.46	0.65	0.74
家島・坊勢	窒素	2.8	4.0	5.3	7.0
	リン	0.46	0.72	0.67	0.66

(11/6) (11/13)

栄養塩（窒素）図

20019年11月15日調査

